

## 令和7年度第2回 岡谷市商業活性化会議 議事要旨

- 1.日 時 令和8年3月26日(木)午後3時30分～午後5時15分
- 2.場 所 岡谷市役所9階 大会議室
- 3.出席者 笠原新太郎会長、有賀利恵子委員、飯田洋市委員、小口理子委員、  
草間麻絵委員、通崎宣史委員、松下京一委員、宮坂恵実委員、  
矢崎京子委員、山口雅人委員、山崎貴司委員
- 【事務局】 岡谷市:木下部長、大槻課長、両角統括主幹、平沢主査、高木主任、赤羽主事  
会議所:赤沼専務理事、武田係長、花岡主査  
※記者会傍聴1社(市民新聞)
- 4.議 題 (1) 令和7年度事業報告について<資料1>  
(2) 令和8年度事業計画について<資料2>  
(3) 第2次岡谷市商業活性化計画 重要度・優先度の見直しについて<資料3>  
(4) その他

### 5. 議事要旨

会長	<p>よろしくお願ひいたします。</p> <p>(1) 令和7年度事業報告について、事務局より説明をお願いします。</p> <p>～事務局より説明～</p> <p>(1) 令和7年度事業報告について&lt;資料1&gt;</p> <p>はい、ありがとうございました。それでは、今説明のありました内容について、委員の皆様からご意見、ご質問等いただきたいと思ひます。</p> <p>まず、私から1つ。釈迦に説法だとは思ひんだけれども、令和7年度に、市、会議所、TMO、商連等がそれぞれ取り組んだ事業があつて、それぞれから今こんなことをやりましたと、そして、その成果がこういう数字で計られたりしているわけだけれども。この令和8年度の事業計画の、例えば1ページのところの基本戦略、それぞれのところに目指すべきゴールっていうのがあるんですね。</p> <p>要は、今まで色々な方たちがやってきた事業によって、この目指すべきゴールに少しでも近づいてるかどうかっていうことなんですよ。かつ、その中でも今年は優先度、重要度が高いよっていうところが、やっぱりそこがしっかりと手がつけられていて、そして少しでも前進しているっていうところが1番大事なところの視点だと思ひんです。</p> <p>例えば、1ページの基本戦略1の重点施策の1・3っていうところが「A/A」なんです。ちなみに、来年度も「A/A」になる予定です。そして、次のページ行くと、基本戦略2の5「消費者から選ばれる商店の魅力向上に向けた支援」というの</p>
----	---

	<p>がやはり「A/A」がついてるんです。</p> <p>なので、特にこれらに対してしっかりと取り組みをされていて、少しでもこの目指すべきゴールに近づいてるなっていうことになっていくことが目指すところであり、皆さんもう十分よくお分かりのことだと思えるんですけども、そんなことを頭に置きながら、ぜひご意見等いただければなという風に思います。</p> <p>ぜひこう、今報告のあった事業に対して、「うん、これはピンと来てるな」、「これ確かにいいな」っていうことがあれば、それはそれで結構ですし、あるいは、「これってどうなんだろう」っていうようなことがあれば、またそんなご意見もいただければなという風に思います。</p> <p>それでは、ぜひ今回はなるべく皆さんからのご意見を頂戴したいと思って、事務局には資料を分かりやすく簡潔に、そして説明を簡潔にということをお願いをしています。ぜひ、皆さんから忌憚のないご意見をいただきたいと思っています。いかがでしょうか。</p>
委員	<p>空き店舗情報発信強化事業のところに、正直、僕、飲食店やってると、諏訪とかから「お店できるところ岡谷であるの？」っていうこととか聞かれたりするのです。</p> <p>ここのところの数字に今とりあえず市が把握してる空き店舗数とかっていうのも入れていただくと、ここのココスマとか見ればって言われればそれまでになっちゃうんですけども、どれぐらい把握してて、実際空いてるけど使える店舗、使えない店舗とかって地主さんとかの関係であると思うんですけども、なんかそういうので、これぐらい空き物件はこの辺にあるよっていうものとかも話せれば、岡谷でやるか諏訪でやるかって悩んでる人が岡谷に来てくれる可能性もちょっとでも増えるかなと思うので、ちょっとそこらへんもわかると個人的にはありがたいです。</p>
事務局	<p>貴重なご意見ありがとうございます。我々も今、空き店舗につきましては、民間さんのココスマさんとかと情報共有しながらやっております。</p> <p>また、空き店舗の利活用っていうのは非常に重要かと思っておりますので、今後また検討させていただければと思っております。よろしく申し上げます。</p>
会長	<p>はい。空き店舗対策っていうのはまさに重要かつ優先的にやるべきだという事業ですが、本当になかなか、こう空き店舗を埋めるっていうことは容易ではないということとはよくわかってるんですけども、一方で、こう、例えば下諏訪で駅前の通りに飲食店が結構ポツポツと出来だしているとか。諏訪は元々街中って店がどんどん入れ替わっていくとか。辞めちゃうところも多いんですけども、出店してる方も多いので、なんとかそういったところからも、岡谷でもね、もっともっと飲食店とかあるいは空き店舗を使う方たちが出てくればいいなと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>会議所さんはいかがですか、この件に関して。空き店舗に対策っていう点では。</p>
事務局	<p>TMOでは「空き家見学会・まちあるき」ということで年6回開催しているところではあるんですけど、実際、今委員さんから意見あったのは、お店に来られた方で、自</p>

	<p>分でお店を開きたいとか、そういう実態っていう部分でお話あったのかなって思うんですけど、うちの「まちあるき」の方はどちらかというに移住希望者の方が多く参加いただいているのかなってところで。やはりそういった需要はあるのかなと思っておりますので、TMO としても、中心市街地のエリアを主にやっているとあるんですけど、市側とも連携をしながら情報の共有とかも進める中で、より良い、最新の情報を参加者の方とかに提供できればいいのかなと感じたところでございます。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。今、空き店舗の非常に貴重なご意見だったと思うんですが、その空き店舗に出店された皆さんだとか、何かこうなればもっと使う方が増えるんじゃないかというようなこととか、そんな視点でもいいんですけども。あるいはまた別のことでいいんですが、いかがでしょうか。</p>
委員	<p>私は空き店舗だったところを使ってお店を始めましたが、ちょっと自己所有物件っていうところもあるものですから、空き家を探したわけではないんです。</p> <p>最近こう、岡谷の中を歩いているとですね、オレンジ色の看板がこう貼られた建物がいくつかあって、これ、店舗に限らず一般住宅もそうなんだと思うんですが、管理物件みたいな感じのものが貼ってあって、あれはどういうことなのか、貸してくれるのか、お金を出して買い取りを目指しているのかっていうところが、こう、その看板だけだとわからなくて。</p> <p>で、その企業さんに問い合わせればいいのかもしいないんですけど、なんか、例えば市の方で、そういった中央通りなら中央通りをローラー作戦で、「お宅のところは今空いてますか」、「貸すつもりはありますか」というようなことを調査するようなことっていうのは、これまでにやっていただいたりしてるんですかね。</p> <p>ちょっとわからないんですけど、空いてそうだなと思ってても住宅であるので貸すつもりはないのか、住宅だけど貸してもいいって思ってる方もいるかもしれないし、そんな形で、もうちょっとこう 1 歩踏み込んで調査をするといいのかなというふうに思いました。</p>
事務局	<p>はい。次の「令和 8 年度 事業計画」のところでお話をさせていただこうかと思っていたんですが、私たちの来年のテーマというわけではないんですが、「足を使って外に出ていこう」というところを目標としております。</p> <p>これは、いわゆる先ほど言いました補助金の PR・周知の仕方もそうなんですけれども、空き店舗につきましても、やはり今委員さんおっしゃっていただいたように、目で見て、例えばここが空いてるのではなかろうかとか、そういったものを確認してきて、利害関係を確認するですとか、そういったものもありますので、まずはターゲットとなる物件を探していくということを来年やっていこうっていうのを目標としております。そんなに人数がいる担当ではないんですけども、少しずつ、そういった地道な情報収集に努めてまいりたいという風には考えております。</p>

<p>会長</p>	<p>はい、ありがとうございます。今お話聞いてて、1つ提案なんですけども、できるかできないかはともかくとして、やっぱり物件を探す人ってこう、街を車なり歩いたり、自転車でぐるぐる回って、どっかないかなって見ることがまず最初だと思うんですよ。その後、不動産屋に行ったりして、紹介してくれなんていうことがあるんじゃないかと思うんです。</p> <p>で、その時にこう、その空き家の所有者の方と相談してやってもいいよってことになれば、そんなにお金のかかることではないので、何か空き店舗だとわかるような看板を出すとかね、そういったこともあっていいかななんていうことは今ちらっと思いました。あくまで提案です。</p> <p>次に、補助金事業についてなんですけれども、補助金の使われ方っていうか、使い勝手というか、もっと色々な人たちに使ってもらいたいなって思うんですけれど、どうでしょうかね。使われる方々はもちろん便利だなんていうか、ありがたいなという風に思ってお使いになってると思うんですが、もっと大勢の方たちに使ってもらうためには何かもっと必要なことがあるのか。</p> <p>もちろん、プレイヤーの人たちが進んで活用しようとしなければ、無理に使わせるわけにはいかないとは思うんですが、せっかくのものなので、より多くの人に使っていただくことが1番あるべき姿だと思うんですね。</p> <p>イルプラザの店舗会長さんは、積極的に事業を展開されて使われているわけですけど、その使い勝手というか、これは前にも質問したと思うんですけども、より多くの人たちに使ってもらうためには、こういう風にした方がいいんじゃないかとか、そんなことがもしあればいかがでしょう。</p>
<p>委員</p>	<p>はい、そうですね。イルプラザは、年間計画で補助金を使ってイベントをやるという計画を立てて動いているので、“ありき”として使わせていただいて、それなりのイベントができるという形で進めているんですが、やはりこう活動していないというか、できない団体が補助金を使おうっていうのはなかなか難しいと思うんですよ。</p> <p>例えば、(株)OPEN OKAYAさんとかから「こんなふうイベントをやってみたら？」っていうようなものがないと、商業会とかでイベントをやろうと思ってもなかなかできないと思うんですよ。</p> <p>私たちはこれまでやってきた流れの上でやっているものもあれば、新たに何かを考えてやっていくというものもある中で使わせていただいているんですが、やはり活動していない商業会に、「補助金あるから使って」って言ったところで、やはりどうしていいかわからないというか、どこから始めていいかわからないとか、そういうのがすごくあると思うので。</p> <p>せっかく(株)OPEN OKAYAさんとか立ち上がってるわけですから、そこをきっかけ</p>

	<p>にして「じゃあやってみようかな」という風にはなっていくかなと思うんですけど、そうじゃないと、「お金あるから使ってください」、「いや、でもどうやって使っていいかわかりません」というのが今の現状じゃないかなって思います。</p>
会長	<p>今の話、10ページの岡谷 TMO 商業活性化事業補助金の件でして、これ元々は各商業会の事業に対しての補助金っていうものだったと思うんですが、今委員さんがおっしゃったように、商業会、確か10あるかと思いますが、本当にしっかりちゃんと、みんなで販促事業をやろうとしている会っていうのは2つないし3つくらいだと思うんですね。</p> <p>で、なかなか商業会活動をほぼ今やってないっていうところを、お金があるから使いましょなんていうのは本末転倒なので、視点を変えて、やっぱりもっと違う団体、商業活性化のための任意グループとかでも使えるはずなので、そういった方たちに対して、こういうものがあるから使ってみませんかというふうな、何かそういったPRの仕方をして、より多くの人たちに使っていただけるような補助金になるべきではないかなという風に私は思います。ぜひ検討をしていただければなと思います。</p>
委員	<p>まさに今おっしゃっていただいた通りで、私は、いとまち商業会ですが、去年から副会長ということで役員をさせていただいておりますけれども、この補助金制度については、去年のこの会議に出させていただいて、それでこういうものがあるというのを初めて知りました。</p> <p>そのあと、役員の方3名の方と集まりまして、「こういうものがあるよね」ということを私の口からお伝えしても皆さんご存じなかったもので、市の担当の方とそれから商工会議所の方に来ていただいて、この商業活性化計画をご説明いただきました。</p> <p>それで、やっぱり使う側が制度があることを知らないっていうのはその通りなので、「そういうものがあるんだったら商業会として何をやっていこうか」ということを初めて考え始めようというきっかけになりましたので、先ほどありましたけれども、どうやってこの補助金の存在を伝えていこうかっていうところが1番大変なのかなというか、まだできてないところなのかなというふうに思いました。</p> <p>いとまちとしては、既に他の商業会さんに色々教えていただいたり、連携しているものもありますので、ぜひね、有効に活用できたらいいなということは思っております。以上です。</p>
委員	<p>補助金はちょっとだけ、1年に1度だけ、落語会をやっている時に使わせていただいております。制度上、10万円を超えないと補助金が使えないので、なかなかちょっとしたイベントで補助金もらえないんですよね。</p> <p>小さな事業はちょこちょこやってはいるんですが、補助金もらえるようなものじゃないので、それは自己資金でなんとかやっているんですが、その10万円を超えないきゃダメっていうのがちょっとネックかなと思ったりもしてまますけれど。</p>

	<p>金額の大きい小さいに関わらず、その半分は助けてくださるっていうようなスタンスの方が、いろいろなイベントをやって、審査をして、これは商業活性化に役立つことだからオッケーにしてくださいのような。</p> <p>補助金に関してよくわかってないんですけど、他の方たち、いろんな商業会で岡谷を盛り上げようという人たちのために、もうちょっとハードル下げてあげて、やってくれるなら少しは援助するよみたいな体制になってたら、もうちょっといいかなって思います。</p>
会長	<p>先ほどから、基本戦略「A/A」がついてるものをしっかり取り組むべきだという話なんですけども、基本戦略2の「消費者満足度向上戦略」っていう中の、重点施策の「消費者から選ばれる商店の魅力向上に向けた支援」ということで、積極的な広告宣伝をしている店舗が増えていくっていうことが目指すべきゴールということなんですけども、「インスタを使った商店魅力発信事業」というのが、これがまさにそれに当たるんでしょうけれど、これどうですか。</p> <p>今、これは市役所商業観光課の商業担当の方が取り組んでるのが、年間で39回発信したということで、その中でさらに市内事業者の皆様の掲載希望を募集していますっていうことが書かれていて、これ私も知らなかったんですが。ご自分でどんどん発信してる店舗もね、いくらでもあるし、ちょっとそこは苦手だっていう店舗もあったり、様々だと思うんですけども。このやはりインスタ、今時インスタなのか、Xとか、そういったもので情報発信ってすごく大事だと思うんですね。この市の取り組みっていうのをどんなふうに評価されますか。</p>
委員	<p>おそらくそれぞれの店舗で、おっしゃる通り、自分のとこのチャンネルを持っていて発信するっていうことはあると思うんですけど、また市の方から別のチャンネルで別の角度から発信してもらっているのは、認知が広がったり、意欲度が上がるっていうところで非常に効率的だと思うので、お店と、あと市の方で連携して発信するような取り組みなんかもまた新しくできればさらに面白いんじゃないかなと思います。</p> <p>で、うちの場合だと、発信はしてるんですけど、基本的にはその施設の発信っていうよりは、ビジネス上、上映作品の発信っていうとこに結構重きを置いていて、どちらかというと自分たちのお店のこう魅力っていうようなところではなくて、どちらかというと商品ですね。</p> <p>おそらくお店によって色々状況が違うと思うので、自分のとこのその実情に合った出し方をすればいいんじゃないかなと思います。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。市の商業観光課で頑張ると言っても、非常にこう限界もあると思うんですね。</p> <p>なので、次年度の、8年度の計画にも「Instagramを活用した商店魅力発信事業」が出てくるんですが、何かこう、マンパワーもいいんですが、来年度はともかく</p>

予算つけちゃって、こう、何か違う方法でもっと発信をたくさんやるとか、そういったことも必要かなっていう風に私は思います。

はい。それでは、続いて、令和8年度事業計画について、まず市から説明をお願いいたします。

～事務局より説明～

(2) 令和8年度事業計画について<資料2>

ありがとうございました。さあ、いかがでしょう。来年度の新しい計画ということですが、ぜひご意見をいただきたいと思います。

この取り組みにはぜひ期待したいとか、こういう取り組みに少し手を加えたらいかがだとか、そういった視点、あるいはここはないんじゃないかっていうようなことがあればぜひご意見いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

一点私からお聞きしたいんですけれど、岡谷市のこの融資制度がありますよね。これってどうなんでしょう。例えば、近隣の市町村と比べて安かったり金額が多かったり、様々だとは思いますが、いかがでしょうか。

例えば岡谷で出店、どこで出店しようかとか悩んでる方がね、岡谷にはこういう金融制度があるんだと、なら岡谷市にしようって選ばれるようなものになっているのか、あるいは、他市町村に後れを取っているのか。この6市町村とかの中で、この状況というか、いかがでしょうか。

委員

私は現場から離れてしばらく経ってるものですから、ちょっと最近の各市町村の制度資金の状況っていうのが実質あまり把握してないっていうのが現状なんですけれど、やっぱり岡谷は充実してる方だと思います。

ただ、本社の状況等によって市の制度資金が使えない場合とかありまして、そういった場合には県の方を、県制度の方ですかね、使うようなご案内になろうかと思いますが、とりあえずその縛りですかね。

要するに、営業店等を岡谷に出すときに、いかにこの岡谷市の制度資金を使っただけのかっていうところが、ちょっとまた問題になってくるんじゃないかなってイメージは思っております。

先ほど言ったように、店舗をまたぐ場合にはどうしても県の方の制度資金を使わなきゃいけないケースもあるものですから、今後は広域の対応が必要だと思っております。

それから、今、金利上昇がかなり繰り返し行われてまして、また今年中にもあと1回の利上げがあるんじゃないかっていう観測が出ておりますので、そこらへんについて、その利用されるお客様が利用しやすいような金利体系、あるいは補助金利用ですかね、補助金支給ですか、そこらへんもちょっと考えていただければと思

	っております。
事務局	<p>はい、ご意見ありがとうございます。岡谷市とすると、働く中小企業の皆さん、非常に事業所多いですので、何か不測の事態が起きた時には、コロナの時ですとか、物価上昇があった時には、すぐ制度資金充実するように努めて、市の方とすると、皆さんにご利用いただけるように、まず銀行に預託させていただいてます。</p> <p>信金さんですとか、借り入れていただくと、その部分の原資を預託させていただくという取り組みをしてると、あと、お金を借りるときには、銀行には払う金利と保証料っていうのを取られると思いますが、その保証協会をご利用いただく形になりますけども、その中で、例えば開業資金の場合は、保証料という、普通金利にプラス1%保証料とか取られるんですが、その部分をしっかり市の方で応援させていただいたり、開業の場合は、2年間利子補給とかですね、全額利子を補給するとか、その後も段階的に、応援するというような形で、他市町村よりはかなり充実してるという風に自負しておりますので、よろしく願いいたします。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。ぜひ、金融機関さんの方からね、こう取引先に対して、「岡谷市にこんな有利なものがあるよ」というようなところを積極的に信金さん、あるいは他の八十二長野銀行さんとかからもね、発信していただければいいんじゃないかなという風に思います。</p> <p>はい。他にはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどお話いただいたように、私も本会議の初めの頃から携わらせていただいているんですけども、そこからすると今の現場の空気感がすごい変わったなっていうのを今実感してまして。</p> <p>うちの商店街の場合には場所もいいので空き店舗というのがほとんどない状態なんですけれども、新しく入った方が、「商業会にはちょっと入りたくないです」とか、あとは、入った方で、まだ新規創業の補助金をもらって5年は経ってないけれども、もう商業会から抜きたいというお話もあったりしまして。</p> <p>それで、市役所さんの方にも問い合わせをして、5年以内に廃業であればそういった補助金等の返還事案になったりするけれども、商業会に対してはそういう規定がないということなので。商店街で商売していただいているけれども商業会には入らないっていうケースが初めて今回出ました。</p> <p>で、こういったケースが今後もし増えてきたとすると、おそらく道を止めて色々イベントやったりというのが難しくなってくるケースというのが考えられるかなと思っていて、そこはとても今危惧しているところです。</p> <p>なかなかこちらから色々お話はさせていただくんですけども、イベントですとか、活動への理解が得られなかったりということはもちろんあるなとわかっていながらも、実際にまだ反対されたりはしてないですけども、そうなった時には、おそらく、商店街を止めて、イベントっていうのは諦めざるを得ないのかなというよ</p>

	<p>うな気がしています。</p> <p>で、今、お話に何度も出てきてると思うんですけども、岡谷が今、駅周辺の町を変えてこうっていうことで、皆さん色々集まってお話をいただいたりですとか、商店街の方でも講演会開かせていただいたりしました。</p> <p>で、今回、ワークショップで集まってらっしゃる方々も童画館通り、商店街のところを、そういう居場所、憩いの場として、人々が集まる場にしたいっていうような、両方とも同じ思いだなっていう風に、お話を聞きながら思ってたんですけども、そういったところが、逆に商業者側の都合でできなくなってきてしまうっていうケースも、なんか、ものすごいスピード感で進んでるなっていうのを、すごい肌感覚で感じていて。</p> <p>その辺りは私たちでなかなかやっていくのは難しいんです、変えていくのは難しいところだと思うんですけども、新規創業等でご相談を受けられる組織の方々等にその辺りもお話、今でも十分いただいているっていう話は聞いているんですけども、その辺りを前もって商店街にお店を出したいっていう話があったら、一緒に話をできたらいいかなとか。</p> <p>入ってからそんなのは聞いてないとかっていう風になると、なかなかそこから先進まないの、そういったお話があった時に、前もって話せるようなタイミングがあったりですとか、そういったことがあったら、もうちょっと前向きに進められるのかなという風に感じてます。</p> <p>本当にこの未来のビジョンのところに関して、特に童画館通りは、他のいくつかあるエリアの中でも、元イベントやってる人間たちがいるところに、さらにそこにイベントやりたいっていう方々が色々お話をいただいているところなので、一緒になってそういうところは進めていければいいかなという風に思ってます。</p>
委員	<p>すいません、今のお話で、将来ビジョンにつきましては私も委員として参加しましたので、ちょっと報告を含めて言わせていただきます。</p> <p>先ほど、事業報告・計画の中で、27ページに、5つのエリアで人が集まってプレイプランを作成したんですが、その中で、課題の中心だとか未来の魅力の再発見と、一般の方々が各エリアについて議論したり課題について抽出しています。今日まちづくり整備課の方々にご足労いただいておりますので、商業観光課含めて、せっかく委員さん集まっていますので、意見を皆様に伝えてしっかり情報共有していただければ、どういうところがみんな求めているとか、もっとわかるような気がしますので、後ほど多分将来ビジョンでご説明あると思いますが、私の意見として伝えさせていただきます。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。はい。他にはいかがでしょうか。</p> <p>商連の活動ですけれども、ここのところ毎年1回の抽選会を実施されていると思いますが、来年度に関して何か具体的な計画があればぜひ教えていただきたいと</p>

	<p>と思いますが、いかがでしょう。</p>
委員	<p>はい、年1回の販促事業というのは、イベントできない商業者を助けるイベントとしては引き続きやっていいのではないかなって思ってます。あとは、今後の商店街をどうしていったらいいかっていう勉強会は必要かなって考えております。</p> <p>このままの状態で継続していったいいのかっていうのは、ちょっと今大きな課題になっているので、商業会を繁栄させていくために何かをやるのか、それとも商業会単位ではなくもっと大きな単位でイベントを考えていくのか、その辺の勉強会みたいなのは必要じゃないかなと考えております。</p>
会長	<p>はい、ありがとうございます。商連が何をやるかっていうことも、やはりこの商業活性化計画の中で目指すべきゴールっていうところでして、まさに商連ってのはプレイヤーの我々なんですよ。</p> <p>で、その中で、商連はさらにそれらを取りまとめる会として何ができるかっていう、「この部分は商連ができる」とかね、「この部分こそ我々が担うべきじゃないか」っていうような、そんな見方をまたぜひ皆さん、商連の役員の皆さん、会議所も一緒になってね、議論していただければなと思います。</p> <p>その中で、何か、これは個店ではできないけれども、商連なら、補助金ももらっているわけですし、使えるわけですので、できることが僕はもっともつあるんじゃないかなと。</p> <p>で、この商業活性化計画の中で、市と会議所っていうバックアップの方々がやることと、それと商連っていう、まさにプレイヤー、我々自身がやることっていうのは違うので、ぜひこの中で、目指すべきゴールを、商連プレイヤー、我々自身がこれをやろうと、その応援を商連がしようっていうことが僕はいくつもあると思うんだよね。なので、ぜひ、役員さん、そしてあるいは地区会長さんたちも集めて、そんなご議論をしていただければなという風に願っています。</p> <p>よろしく申し上げます。はい。他にはいかがでしょうか。</p>
委員	<p>私、もう松本にずっと住んでいて、岡谷に出勤してそのまますぐ帰るっていう生活をしてると、新聞も取ってないですし、本当に岡谷の情報、入ってこないんですよ。</p> <p>で、松本の方と色々お話しても、レイクウォークを知らない方も結構いて、レイクウォークは知ってるっていう前提で話していると、「何それ？」っていう話から始まってしまうので、ちょっとそういうところも何か手をいれていかないとなつて。</p> <p>インスタだけじゃないと思うんですけど、SNSとかはもう少し力入れてもいいんじゃないかなっていう。</p> <p>特に広告をつけると全然閲覧数変わるのでインスタ予算必要になりますけれど、そういうところもやってみたらどうかなって思うのは思います。</p>

会長

ありがとうございます。市内店舗の知名度を上げるっていうことがやっぱり目指すべきゴールの中にも謳われているわけで、やはりそれを、個店でね、どんどんやっていけるところもあれば、そうでないところの、どうやってバックアップしていくのかということだと思っんですね。

なので、例えば SNS のもっと有効な使い方っていうのを学ぶ場を作ったり、あるいは今市役所さんがやってますけれども、発信してくれていたりすることもあるわけなので、もっともっといろんな形でこう知名度を上げる、知ってもらう、知ってもらって来てもらうっていう、いろんな工夫を側面からぜひやるべきではないかなという風に思います。

ぜひお願いしたいと思います。はい。それでは、次に進めさせていただいてよろしいでしょうか。

はい、それでは（３）第２次岡谷市商業活性化計画 重要度・優先度の見直しについて、事務局より説明をお願いします。

～事務局より説明～

（３）第２次岡谷市商業活性化計画 重要度・優先度の見直しについて＜資料３＞

はい、ありがとうございました。それでは、今の説明に対して、委員の方から補足、あるいは全体の今の議論の総括等も含めてお願いしたいと思います。

～委員より補足説明～

はい、ありがとうございました。それでは、今のご説明に関して委員の皆様からご意見等ありますか。よろしいですかね。はい、ありがとうございます。それでは、このアンケート結果のまま決定したいと思います。よろしく願いいたします。

最後、（４）その他ですが、事務局の方から何かございますでしょうか。

～事務局より説明～

（４）その他（商圏人口の現状について＜資料４＞）

はい。ありがとうございます。何か質問等ございますでしょうか。

ちょっと残念な数字だなと。令和３年以前は僕の記憶では、吸引力ってのは 90、100 切っていたんですよ。で、それがレイクができたことによって 100 を超えて、久しぶりに 100 を超えたなっていうような、ちょっとおぼろげな記憶があるんです

けれども、残念ながら 100 を少し切ってしまった。

しかも 10 パーセントも落ちてしまったというところに、非常に、お買い物するなら岡谷を掲げているわけですがけれども、ちょっと残念な状況かなという風に思います。

はい、これはこういう事実だということなので、よろしいですかね。

それでは、事務局、何か他にはございますか。

～事務局より説明～

(4) その他（岡谷駅周辺まちの将来ビジョンについて）

多分、市民のみなさん、僕も含めてですけれども、ララオカヤの解体がやっと決まったというところで、ほとんど多くの方は、ララオカヤがなくなって、あそこになんかできるというか、広場になるのか公園になるのか、あるいはロータリーが広がるのかとかね、そのくらいにしか思っていないと思うんですよ。

ただ、これは多分それをきっかけとして、駅周辺、南側、諏訪湖、そして市役所までを一体の活性化というか、そういう形のものになっていくんでしょうか。

それで、TMO も中心市街地活性化ということが目的で立ち上がっているものなので、その辺とのこの関わり方とかいうものはどういうことになるんでしょうか。

事務局

はい、まず 1 つ目、駅前ですね、形っていう部分でございますけれども、今おっしゃられたようにですね、まず解体を実施をいたしまして、その後、ロータリーですとか駐車場、また緑地広場といったような形で整備を進めてまいりたいという風に考えております。

で、特に緑地広場につきましては、その場所がこう、緑地広場で終わるのではなくてですね、広場になった後、様々な社会実験、試みを通じまして、その場所に真に必要な機能というものを市民の皆さんと一緒にこう見出していきたいなという風に思っております。

で、その後ですね、しっかりした必要な機能というものの整備につながっていくかなという風に思っておりますし、また、エリア全体のお話ですと、3つのエリアをまずこの集中的にと言いますか活性化していきまして、その3つのエリアをつなぐネットワーク軸をしっかり構築をして、相対的にエリア全体の活気が上がっていくというようなことをイメージをしているところでございます。

また、最後に、TMO さんとのですね、連携という部分ですけれども、先ほど説明にもございましたが、令和7年度から連携をしまして、ワークショップですとかそういったものについて活動をしているところでございます。

今後もですね、それぞれ得意、不得意っていう部分あると思いますので、しっかり連携をしながら事業の方進めてまいりたいなという風に思っているところでござい

	す。
会長	<p>それではぜひ、これもほんとに大きな計画で、20年というスパンの中で取り組んでいくプロジェクトということなんですかね。なので、大いに期待したいと思います。</p> <p>はい。それでは、皆様、本当におかげ様で、活発なご意見いただきありがとうございます。事務局にお返ししたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。以上をもちまして、令和7年度第2回商業活性化会議を終了とさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。(終了 17:15)</p>